

<経済>

夏期の小売売上高、2桁の減少

香港の8月の小売売上高が、前年同月比10.5%減、前月比でも2.1%減少となりました。前年同月を割り込むのは18ヶ月連続となり、「このまま低迷が続けば、リストラや倒産の波が訪れるのでは」との懸念が広がっています。

特に減少が顕著なのは、宝飾品・時計・高級贈答品（22.5%減）、耐久消費財（23.9%減）などで、主に中国本土客をターゲットとした品目が際立って減少しています。香港政府や小売業界団体は、原因として、①香港を訪れる旅行者の減少（8月は前年同月比9.4%減）、②香港を訪れる中国本土客の減少（8月は前月比11.3%減）、③香港市民の慎重な消費マインド、を挙げ、今後の香港観光業の動向や、様々な要因が香港市民の消費マインドに与える影響について、注視する必要があるとしています。

さらに中国政府は、中国人の爆買の対象の一つとなっている化粧品について、一部の消費税を免税にするなど、中国国内の内需拡大に向けた措置に踏み切りました。香港の化粧品店は今後ますます値下げ競争にさらされることになり、厳しい状況が続くことになりそうです。

香港の街を歩くと、数十メートル毎に必ず宝飾品店と化粧品店にぶつかるほど、香港の一部の小売業は飽和状態にあります。かつては中国本土客の爆買に支えられたこれらの店ですが、いつまでも続くわけではありません。それは日本を訪れる中国本土客も同じです。爆買客を取り込むためには、彼らのニーズの変化をいち早くつかみ、柔軟に対応することが必要なのだと思います。

<社会>

「日本秋祭 in 香港」開幕

10月14日、日本文化交流促進イベント「日本秋祭 in 香港—魅力再発見—」が開幕し、当日の開幕式には安倍昭恵首相夫人や、香港政府の林鄭月娥（キャリー・ラム）長官が出席し、盛大に行われました。10月から11月にかけて、映画、音楽、伝統・現代芸術、食・酒、スポーツ、芸術交流など日本に関する130のイベントが行われます。

イベントの一つである「縁日(En x Nichi)」

では、日本舞踊や和太鼓の演奏のほか、香港を代表する日本食レストランが屋台を出店するなど、日本の縁日をイメージしたお祭りに多くの人を訪れました。会場には浴衣姿の





<イベント「縁日 (En x Nichi)」の様子>

香港人も多く見られ、日本文化がどれだけ香港に浸透しているか、うかがい知ることができました。

当行が参加予定のイベントは、台風で順延となったため、あいにく当紙面で紹介できませんが、日本と香港の文化交流に少しでも関わることができ、大変光栄に思います。

香港の貧困層、全人口の2割

香港は、世界の金融都市として、お金持ちの集まる華やかなイメージがありますが、一方で貧困層の増加が大きな問題となっています。香港政府が発表した貧困状況に関する報告によると、2015年の貧困人口は前年比2万人増の134万人と、香港の全人口の19.7%を占めるまでになりました。また人口に占める富裕層10%と貧困層10%との所得の差は28.6倍となり、「驚くべき水準」と警鐘を鳴らしています。

香港の貧困層の人々を苦しめているのが、高騰する不動産事情です。香港では、ワンルーム（1ベッドルーム）の家賃が1万香港ドル（約14万円）以上かかり、貧困ラインとされる月3,800香港ドルの収入では到底借りられません。狭小住宅に家財道具を詰め込み、家族すし詰め状態の生活をしている人々が、香港には約20万人いるといわれています。

香港政府は、現金給付などの生活支援や低所得者向けの公営住宅の増設など対策を進めています。公営住宅への入居は平均3年以上待たなければならず、貧困層の支援には結びついていないのが現状のようです。



<貧困層の暮らしを伝える写真展「TRAPPED」。「キッチンとトイレが一体となった空間（左）」など、厳しい生活を伝える写真に、多くの人々の関心が集まった。>

香港・広東省の見本市予定 (2016 年 11 月～2017 年 1 月)

香港

見本市名	場所	期間
香港国際ワイン&スピリッツ	HKCEC	11/10～11/12
コスモプロフアジア 2016 (美容関連用品)	HKCEC および 亜洲国際博覧館	11/15～11/18
World SME Expo (流通取引サービス、金融、IT・eビジネス等)	HKCEC	12/1～12/3
香港スマートホーム展	HKCEC	12/24～12/27
香港自動車ショー	HKCEC	12/24～12/27
香港メガショーケース (電気製品、家庭用品等)	HKCEC	12/24～12/27
香港フードフェスティバル 2016	HKCEC	12/24～12/28
第 43 回香港おもちゃ&ゲームフェア	HKCEC	1/9～1/12

※ HKCEC : 香港コンベンション&エキシビジョン・センター

※ 亜洲国際博覧館 : アジアワールドエキスポ (香港国際空港側展示会場)

広東省

見本市名	場所	期間
中国国際レザーバック・ハンドバックフェア	PWTC	11/1～11/3
中国国際産業用ロボット展	琶洲会場	11/15～11/17
深圳タッチディスプレイ・タッチスクリーン展	SZCEC	11/24～11/26
中国国際食品包装・加工機械展	琶洲会場	12/5～12/8
中国国際低炭素素材展	PWTC	12/7～12/9

※琶洲会場 : 中国出口商品交易会琶洲展示館 (広州)

※PWTC : 保利世界貿易中心 (広州)

※SZCEC : 深圳コンベンション&エキシビジョン・センター

上記の見本市は予定が変更になる場合もありますのでご留意下さい。

★トピックスレポート（香港人スタッフ便り）★

香港の失われてはならない文化 6 選

最近、オクスフォード英語辞典に、香港ゆかりの単語「char siu (チャーシュー)」「dai pai dong (ダイパイドン=香港の屋台)」「wet market (ウェットマーケット)」が新たに追加されました。香港が長年かけて育んできた文化が、正式な英単語として認められた瞬間です。しかし、これらの文化は徐々に人々に忘れられ、いくつかは消滅の危機に直面しています。今日は、香港が残しておくべき文化を 6 つ紹介します。

1. 長洲島饅頭まつり

毎年旧暦 4 月 8 日に、香港の離島の一つである長洲島で行われる饅頭まつりは、もともと漁民が海賊からの安全を祈願した儀式が起源と言われています。最大のハイライトである饅頭レースでは、高さ 14 メートルの塔一面に饅頭が貼り付けられ、レース参加者は饅頭を集めながら、塔の頂上の饅頭を目指して駆け上ります。

2. トラム

香港島の筲箕湾（シャウケイワン）から堅尼地城（ケネディタウン）までの 30 キロを結ぶ、2 階建ての路面電車は、地元の人々の足として、また香港観光に欠かせない乗り物として、長年愛されています。

3. テンプルストリート ナイトマーケット

九龍半島のテンプルストリートには、通りの両側にぎっしりと露店が並び、ブランド品の偽物、ライター、小さな装飾品等、あらゆるものが売られています。夜には占いのブースや屋台も並び、毎晩多くの人で賑わっています。

4. ストリートフード

道路に面したテイクアウト専門のストリートフード店は、カレーフィッシュボール、シューマイ、揚げ物など、香港の B 級グルメの宝庫です。その独特のにおいが日々香港人の食欲を刺激しています。

5. ピーク（ビクトリアピーク）

香港人にとってビクトリアピークは、人生の数々のイベントとともに歩んできた象徴的な存在です。標高 400 メートルの展望台から見る香港の景色は、忘れられない思い出となって、人々の心に刻まれています。

6. ダイパイドン

香港の屋台ともいえるダイパイドンは、いまや香港中に 28 軒しか残っていない、消え行く香港文化の一つです。冷房もなく、調理場の熱風にさらされ、清潔とはいえないテーブルと丸椅子で食べる料理は、しかし香港で最も美味しいとの評判です。